



# 2015年度第3四半期決算概要説明資料

---

2016年2月5日

**農林中央金庫**

**The Norinchukin Bank**

# 損益の状況

## 【連結】

(単位: 億円)

	2014年度 第3四半期 a	2014年度 通期	2015年度 第3四半期 b	前年同期比 増減 b - a
1 経常利益	4,096	5,145	3,080	▲ 1,016
2 純利益(注1)	3,148	4,113	2,475	▲ 672

## 【単体】

(単位: 億円)

	2014年度 第3四半期 a	2014年度 通期	2015年度 第3四半期 b	前年同期比 増減 b - a
3 経常収益	10,388	13,404	10,124	▲ 264
4 うち資金運用収益	8,012	10,337	8,290	278
5 経常費用	6,329	8,361	7,106	777
6 うち資金調達費用	4,478	6,033	5,251	772
7 うち事業管理費	909	1,227	1,112	202
8 経常利益	4,059	5,043	3,017	▲ 1,042
9 特別損益	▲ 3	▲ 16	▲ 11	▲ 8
10 税引前純利益	4,056	5,026	3,005	▲ 1,050
11 純利益	3,134	4,045	2,436	▲ 698

## 【単体:参考値】

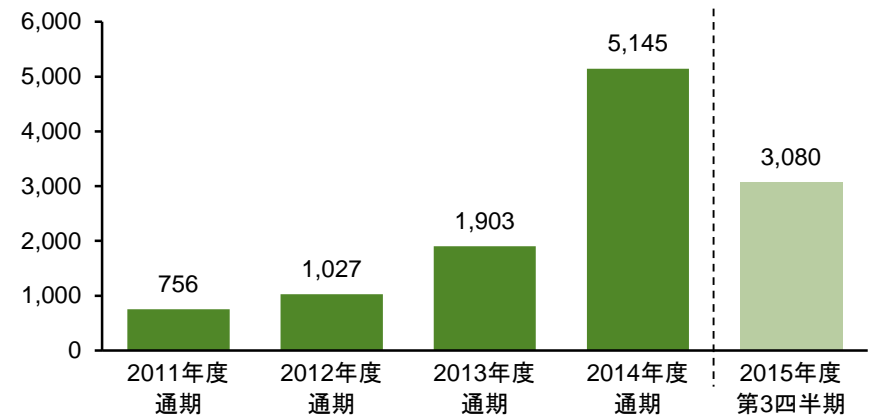
12 有価証券売却損益	2	2	170	167
13 有価証券売却益	388	409	361	▲ 27
14 有価証券売却損(▲)	385	407	191	▲ 194
15 与信関係費用(▲)(注2)	▲ 282	▲ 511	▲ 82	199
16 有価証券償却(▲)	13	19	0	▲ 13

注1: 2015年度第3四半期の連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

注2: 与信関係費用のマイナス(▲)は戻入

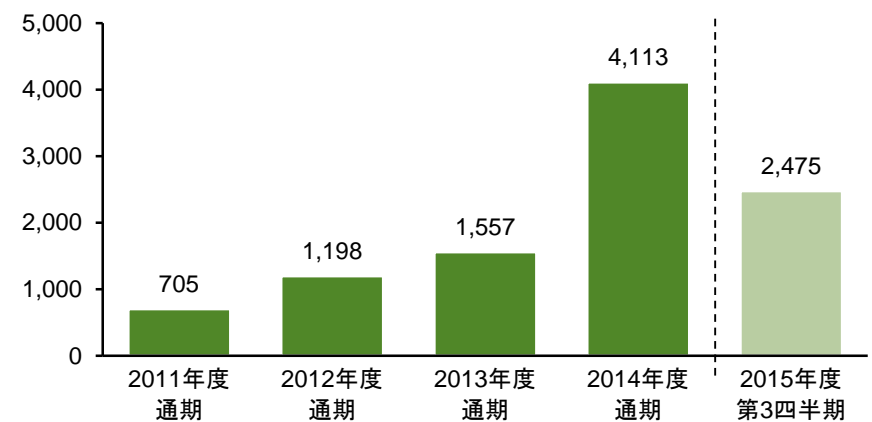
## 経常利益の推移(連結)

(単位: 億円)



## 純利益の推移(連結)

(単位: 億円)



# バランスシート of 状況

## 【連結】

(単位: 億円)

	2015年3月末 a	2015年9月末	2015年12月末 b	前期末比 増減 b - a
1 資産の部合計	945,497	995,464	1,030,272	84,775
2 負債の部合計	872,415	925,461	959,650	87,234
3 純資産の部合計	73,081	70,003	70,621	▲ 2,459

## 【単体】

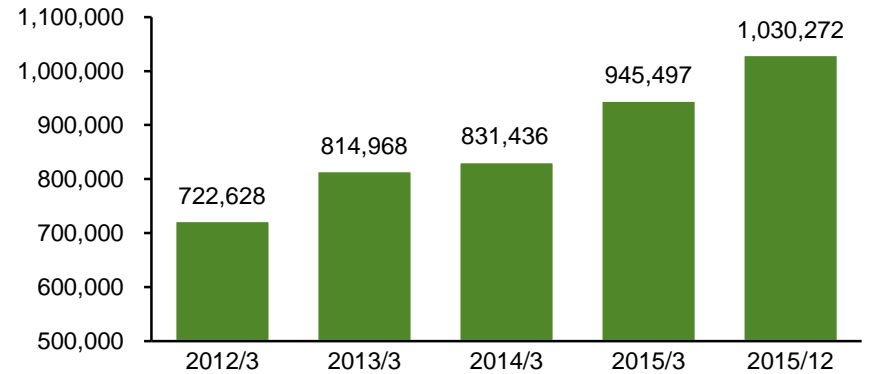
(単位: 億円)

	2015年3月末 a	2015年9月末	2015年12月末 b	前期末比 増減 b - a
4 貸出金	199,357	190,124	196,034	▲ 3,322
5 有価証券	597,385	600,662	599,921	2,535
6 金銭の信託	45,060	40,321	50,604	5,543
7 現金預け金	72,786	134,006	152,076	79,290
8 その他	21,595	20,387	21,301	▲ 293
9 資産の部合計	936,184	985,501	1,019,938	83,754
10 預金等(注)	560,989	582,644	600,005	39,015
11 農林債	35,643	33,744	32,786	▲ 2,856
12 売現先勘定	177,076	207,232	208,436	31,360
13 その他	90,157	92,633	108,858	18,701
14 負債の部合計	863,866	916,254	950,086	86,220
15 純資産の部合計	72,318	69,246	69,851	▲ 2,466
16 その他有価証券評価損益	32,256	25,756	25,655	▲ 6,600

注: 預金等は会計上の預金および受託金(会員からの短期資金受入が大半)

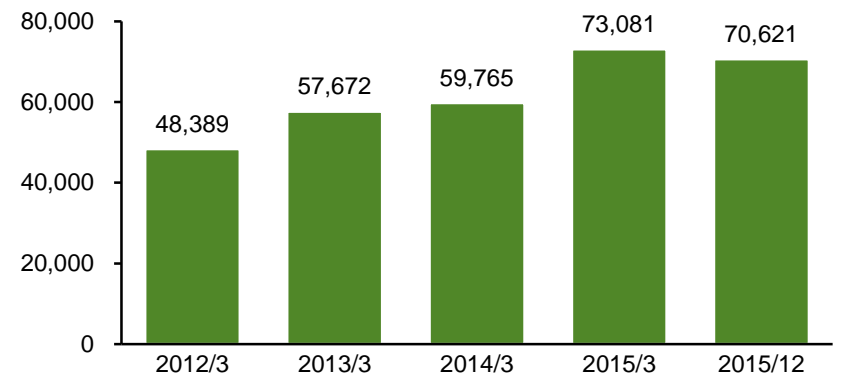
## 総資産の推移(連結)

(単位: 億円)



## 純資産の推移(連結)

(単位: 億円)



# 有価証券等の評価損益(単体)

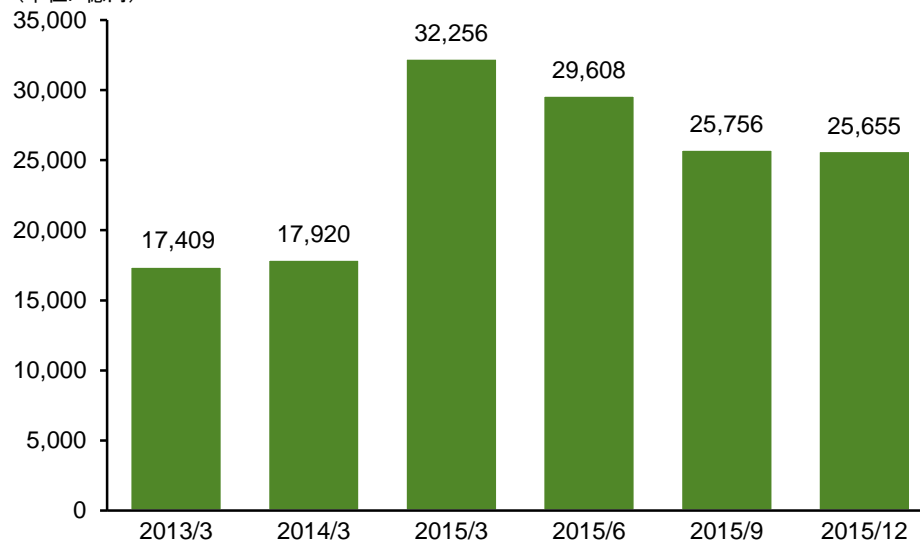
(単位: 億円)

	2015年3月末 a	2015年9月末	2015年12月末 b	増減 b - a
1 株式	4,042	3,899	4,504	461
2 債券	3,346	3,350	3,615	268
3 国債(注)	3,345	3,350	3,615	269
4 地方債	0	0	0	▲ 0
5 社債	0	0	▲ 0	▲ 0
6 その他	21,594	15,964	15,023	▲ 6,571
7 外国債券(注)	9,829	8,590	6,448	▲ 3,380
8 外国株式	179	101	104	▲ 74
9 投資信託	11,246	6,830	8,046	▲ 3,199
10 その他	339	442	422	83
11 金銭の信託	3,272	2,541	2,512	▲ 760
12 合計	32,256	25,756	25,655	▲ 6,600

注: その他有価証券から満期保有目的の債券へ変更したものを含む

## 有価証券等評価損益の推移

(単位: 億円)



# (参考)証券化商品等の状況(単体:速報値)

## 1 証券化商品への投資状況(注1)(注2)(注3)

(単位: 億円)

エクスポージャー	AAA	AA	A	BBB	BB+以下	合計	評価損益	
							3月末比	3月末比
1 資産担保証券(ABS)	7,740	-	-	-	-	7,740	▲5,030	▲22
2 住宅ローン担保証券(RMBS)	18,473	283	104	96	49	19,007	▲3,885	15
3 商業用モーゲージ担保証券(CMBS)	698	-	-	-	-	698	9	▲146
4 債務担保証券(CDO)	19,100	819	478	-	0	20,398	2,423	▲102
5 ローン債務担保(CLO)	19,100	819	478	-	-	20,398	3,444	▲102
6 証券化商品担保(注4)	-	-	-	-	0	0	▲1,021	-
7 その他	-	-	-	-	17	17	▲22	-
8 合計	46,012	1,103	582	96	67	47,862	▲6,505	▲255

## 通貨別エクスポージャー

(単位: 億円)

エクスポージャー	3月末比	評価損益	
		3月末比	3月末比
1 米ドル	30,702	▲2,602	▲245
2 ユーロ	10,882	▲1,764	11
3 英ポンド	2,078	▲885	-
4 豪ドル	2,119	494	-
5 円	2,078	▲1,747	▲21
6 合計	47,862	▲6,505	▲255

## 2 モノライン関連商品への投資の状況(注5)

(単位: 億円)

エクスポージャー	3月末比	評価損益	
		3月末比	3月末比
1 モノラインによる保証付金融商品	136	▲47	▲27

## 4 その他

当金庫はABCP, SIV, レバレッジドローンの組成, 引受, トレーディングを行っておらず, 関連する商品のトレーディング勘定での保有や, 連結非対象とするオフバランス取引は行っていない。また, レバレッジドバイアウトを主な資金使途とする貸出(内部管理上の定義による)の残高はない

## 3 米国住宅金融公社関連債券への投資の状況(注6)

(単位: 億円)

エクスポージャー	3月末比	評価損益	
		3月末比	3月末比
1 エージェンシー・モーゲージ債	14,521	▲3,027	496
2 エージェンシー債	13,121	▲595	▲34
3 合計	27,643	▲3,623	462

注1:証券化商品の定義は, パーゼル規制における証券化エクスポージャーを基本とした内部定義による。米国住宅金融公社関連のモーゲージ担保証券を含まない

注2:証券化エクスポージャーは評価差額, 損益額の反映後。2015年度の損益への影響は8億円

注3:証券化商品への投資において, 住宅ローン担保証券・債務担保証券ともに, サブプライム関連商品の残高はない

注4:ABS-CDO, CDO of CDO's等の2次, 3次証券化商品。このほか, パーゼル規制固有の再証券化商品(原資産に一つでも証券化商品が含まれる商品)が1,524億円あり

注5:モノラインによる保証付金融商品と別にモノラインのCDS等を含む証券化商品(CDO)を保有

注6:この他に米国政府全額出資の米政府系機関である政府抵当金庫(ジニーメイ)保証付の住宅ローン担保証券の保有額は20,628億円

注:2015年12月末現在, 単体ベース

# ご利用の皆様へ

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。当金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、当金庫に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。